

# 情報モラルちょっと授業

～10分で指導する情報モラル～

対 象 学 年	高校1年
---------	------

領 域	教科指導（ 英語 ）
指 導 項 目	日常生活におけるコミュニティサイト利用頻度を見なおす

<u>情報モラル指導モデルカリキュラム</u>			
分 野	安全への知恵		
コ ー ド	F5-1	指導事項	健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる
指導のねらい	高校生には大変認知度の高いスマートフォンのコミュニケーションアプリの利用について、より多くの生徒に客観的に考えさせる機会を与える		

科 目 ・ 活 動 と の 関 連	スマートフォンの利用のしすぎでどうなるか、というありがちな高校生の日常の一コマをストーリー形式で取り入れた定期考査の問題を出題し、すべての教科担当者が考査後に解説をすることにより、より多くの生徒の意識付けのきっかけとする。また、同時に多くの教員も情報モラルについて考え、指導することができる。
利 用 教 材 ( サ イ ト )	自作考査問題

10分	学習の過程	指導法	指導の留意点
導入	定期考査の解説	問題について文法等の解説をしてからグループに分ける	グループで文章を再度熟読させる
展開	内容把握	グループで文章のあらすじを話し合わせ、自分の経験に照らし合わせながら、代表者に発表させる	グループ全体で話し合わせることによって、他のクラスメートの考えを知る
まとめ	全体でのまとめ	全体に、これに近い経験を持っている生徒がどのくらいいるか聞く。また、その時はどうしているか答えさせる。	他クラスの反応も織り交ぜながら、全体で考えさせる。

子どもの実態と反応および自身がわかったこと	定期考査後、生徒の何人かに尋いてみると、内容まで読めている生徒も多かった。グループで話し合わせ、発表させることで、生徒のネットワークを利用したコミュニケーションの実態を把握することができた。この英文に近い経験をしたことのある生徒をたずねたところ、思った以上に多かった。とにかく、携帯電話やスマートフォン等のコミュニケーションは途中でやめることが難しいという。家で机に向かって課題や予習をしながらも、横には携帯電話やスマートフォンをおいている生徒も結構いるようだった。他の担当の先生から、生徒は問題文を真剣に読み、携帯電話やスマートフォンの利用について話題になったとの報告を受けた。
実践の評価	定期考査の問題としては、話題性が高く、多くの生徒にとってタイムリーな問題であった。同じ学年を教えている同教科の先生方からも興味深いという評価をいただいた。どう対処するか、までは迫りついていないが、導入としてはまずスモールステップできたかもしれない。

利用教材：自作教材（Ⅲ期考查問題の一部の抜粋）

次は、とある高校生の英文日記です。習いたてなので、不定詞（to-原形、原形不定詞）と動名詞（動詞-ing）の使い方に、間違っている個所が8つあります。その個所を例にならって、正しい形に直してあげましょう。  
答えは解答欄に直接記入しなさい(8)

【例】 I like ~~play~~ baseball. Every day I wake up early in the morning to run for an hour. After **playing / to play**  
I finish ~~run~~, I usually drink a lot of water. My mother wants me ~~study~~ more, but ...  
**running** **to study**

【とある高校生の日記】

I woke up in the morning to found it was seven thirty. I usually get up at seven. Wow! “It’s too late to being in time for school.” I thought to myself. Last night I enjoyed to use ‘LINE’ and could not stop it on the way. I asked my mother drive me to ABC high school. I knew my mother didn’t like me be late for school. But she said, “Don’t ask me. I want you to go to school for yourself.” I hurried to the station without have breakfast. I could catch the train. When I got off at ABC station, I heard someone to call my name. It was Takuya, my classmate. He had also overslept. We dashed to school. Fortunately we could be in time. I felt really happy. Suddenly, I remembered a very important thing. I had left my homework at home! In the end, my homeroom teacher made me to stay after school and I had to do my homework until 6:30 p.m..

解答例

I woke up in the morning to ~~found~~ it was seven thirty. I usually get up at seven. Wow! “It’s too late to **find** being in time for school.” I thought to myself. Last night I enjoyed ~~to use~~ ‘LINE’ and could not stop it on **be** **using** the way. I asked my mother ~~drive~~ me to ABC high school. I knew my mother didn’t like me ~~be~~ late for **to drive** **being (×to be)** school. But she said, “Don’t ask me. I want you to go to school for yourself.” I hurried to the station without ~~have~~ breakfast. I could catch the train. When I got off at ABC station, I heard someone ~~to call~~ **having** **call** my name. It was Takuya, my classmate. He had also overslept. We dashed to school. Fortunately we could be in time. I felt really happy. Suddenly, I remembered a very important thing. I had left my homework at home! In the end, my homeroom teacher made me ~~to stay~~ after school and I had to do my **stay** homework until 6:30 p.m..

指導のポイント

定期考查の文法項目が不定詞と動名詞であった。文法事項を理解しているかどうかを見るには、実際の文章の中で間違いを探させることは有効である。そこで、学年全員対象でハイスティックである定期考查であれば、生徒は真剣に読むであろうし、努力するとも考えられる。内容まで辿りつかなくても、定期考查後の授業解説で、どの担当教員の先生であっても、全員対象に内容を理解させる必要がでてくる。ここに出てくる高校生は、もしかすると自分の経験談かもしれない、ということを客観視させることによって、日ごろの自分の行動を再チェックさせることができると考えた。